

立命館大学大学院
2024年度実施 入学試験

一貫制博士課程

先端総合学術研究科
先端総合学術専攻

入試方式	実施月	専門科目		小論文	
		ページ	備考	ページ	備考
一般入学試験	9月	P.1～		P.3～	一部窓口公開のみ (WEB非公開)
	2月	P.6～		P.8～	一部窓口公開のみ (WEB非公開)
一般入学試験(自己推薦)	9月				
	2月				
社会人入学試験	7月 (2024年9月入学)				
	9月				
	2月				
外国人留学生入学試験	7月 (2024年9月入学)				
	9月				
	2月				
学内進学入学試験	7月				
	9月				
	2月				
APU特別受入入学試験	7月 (2024年9月入学)				
	9月				
	2月				
転入学試験	7月 (2024年9月入学)				
	9月				
	2月				

【表紙の見方】

×・・・入学試験の実施がなかった等の理由で入学試験問題の作成がなかったもの、または、問題を公開しないもの
斜線・・・学科試験(筆記試験)を実施しないもの

問題冊子は回収します

2025 年度

先端総合学術研究科(一貫制博士課程)

一般入学試験問題(2024 年 9 月 8 日実施)

専門科目

入試方式	試験時間	解答方法
一般入学試験	9:40～11:10 (90 分)	問題を解答

(途中退室はできません)

【解答にあたっての注意】

1. 使用する言語のすべての解答用紙に受験番号・氏名を記入すること。
(使用しない言語の解答用紙には受験番号・氏名を記載する必要はない)
2. 試験中に気分が悪くなった場合は、静かに手を挙げて監督者に知らせること。

問1 以下の中から用語を3つ選択し、それぞれの意味する内容を 400 字以内で説明せよ。

Q1. Select three from the following terms and explain the meaning.

- アドボカシー advocacy
- エイブルイズム ableism
- 脱施設化 deinstitutionalization
- インターセックス／性分化疾患 intersex / difference of sex development
- 言語ゲーム language-game
- 論争中の病い contested illness
- エミックとエティック emic and etic
- 文化唯物論 cultural materialism
- 世界システム world-system
- 生成 AI generative AI
- パラダイム paradigm
- 再帰性 reflexivity

問2 以下の設問から1つを選択し、1000 字以上 1500 字以内で論述せよ。

Q2. Select one from the following questions and answer it.

①優生保護法の強制不妊手術問題について論述せよ。

Discuss the issue of forced sterilization under the Eugenics Protection Law in Japan.

②感動ポルノを説明し、社会のなかで感動ポルノが果たす役割について、具体例を交えて論じ、関連する人文社会科学的概念を引用して、その功罪を論述せよ。

Explain what inspiration porn is, discuss the role it plays in society using specific examples, and evaluate its merits and demerits by referencing relevant concepts from the humanities and social sciences.

③人口減少社会における「伝統」の断絶ないし急激な変容を調査・記述する際の倫理的な問いについて自由に論述せよ。

Discuss freely the ethical issues involved in researching and describing discontinuation or radical transformation of “tradition” in depopulated societies.

④20 世紀から 21 世紀にかけて、デジタル化が世界をどのように変えたかを論述せよ。

Discuss how the process of digitization has changed the world in the 20th and 21st century.

問題冊子は回収します

2025 年度

先端総合学術研究科(一貫制博士課程)

一般入学試験問題(2024 年 9 月 8 日実施)

小論文

入試方式	試験時間	解答方法
一般入学試験	11:40～12:40 (60 分)	問題を解答

(途中退室はできません)

【解答にあたっての注意】

1. 使用する言語の解答用紙に受験番号・氏名を記入すること。
(使用しない言語の解答用紙には受験番号・氏名を記載する必要はない)
2. 試験中に気分が悪くなった場合は、静かに手を挙げて監督者に知らせること。

日本語の論述問題と英語の論述問題の <いずれか 1 つ> を選択し、文章を読んで設問に答えよ。

(日本語の問題を選んだ場合には、英語の問題には解答しないこと)。

Select either the Japanese or English examination, read the sentences and answer the questions. (If you choose the English examination, you don't need to answer the Japanese one.)

小論文(日本語)

以下の文章を読み、設問に答えよ。

[...]構造的不正義とは、たいてい制度上の規則の範囲内で、大半のひとが道徳的に許容されていると考える実践に従って行動する、何千、いや何百万もの人びとによって生産され、再生産されている。たとえば、多くの人びとにとって、きちんとしていて手頃な価格の住宅が不足している状況は、大半の住宅市場で起こるありふれた光景だ。これらの市場の力学は、多くの要素の影響を受ける。たとえば、投資インセンティブ〔投資家への税制上の優遇措置〕、開発業者の想像力や専門性、そして財政力、住居の選好に関する文化的な前提、そして地域の開発計画などである。こうした構造上のプロセスにおいては、しばしば違法なことや不道徳なことをする者たちもいる。なかには、黒人やムスリムと思われる人びとへの貸し出しを拒否する者たちもいれば、地域規制を逃れようと市の職員に賄賂を渡す者もいるだろう。そうした違法あるいは不道徳的な行為は、明らかに構造的な結果につながるが、そうした行為に関与する人びとだけが、不正義の加害者というわけではない。他にも、あまりにも多くの人びとが不正義な結果に関与しているのである。

法律上、そして、日常的な道徳生活において、責任を課すという実践は、まず^{フーダニット}〔犯人は誰だ?〕〔示された解決の手がかりや論理性をもとに、犯人を探し当てる推理小説のジャンル。欧米ではそれをもじってフーダニットと称される〕と特定しようとするのである。つまり、あるひとに危害の責任を負わせるためには、わたしたちはその者がその危害を引き起こしたのだと言えなければならない。因果論的な責任は、それだけでは、行為者が非難に値する、あるいは有責とするには不十分であるものの、通常必要とされる。この一般論には重要な例外がある。わたしたちは、たとえば輸送列車を組織化したアイヒマンのように、危害を直接引き起こした行為者に命令を下したり、それを可能にしたりした者たちは非難に値するとみなし、時には、そういう者たちは、実際に危害を引き起こした者たちよりも、さらに非難されるべきだと考える。だが、こうした例外は、つぎのような原則の延長線上にあるにすぎない——道徳と法的責任の標準的枠組みにおいて、個人の行為は、わたしたちが責任の所在を特定しようとしている危害と、直線的につながっていなければならない、と。

構造上の不正義に伴う問題とは、こうしたつながりを辿ることができないということだ。構造上のプロセスに関与した者を特定することは、難しい。しかしながら全体として見ると、ある特定の個人や会社のような特定の集団的行為者の行為が、いかんして別の特定の個人に対する危害を直接引き起こしたのかを明らかにすることは、不可能である。たとえば、住宅購入者が玄関口に大きな芝生を欲しがり、開発業者がその希望に応えるとき、こうした希望を満たすことは、ほぼ間違いなくその地域の住宅価格の高騰を引き起こすことになる。しかしながら、大きな芝生のある分譲地の投資家たちや、その住居の購入者たちの行為が、低所得の人びとが自分たちの所得の四〇％以下の価格で手に入れられるような住宅を見つけることができない状況を引き起こしているというのは、誤りだろう。他の多くの行為や制度的慣習、そして政策もまた、こうした人びとが苦しむ不正義に関与しているのである。さらに、特定の個人の行為は、他のひとにとっての不正義に対して、直接的に関与するのではなく、多くの人びとの行為に構造的制約を与え、一部の人びとにとっての特権的な機会を生みだしながら、むしろ間接的、集合的、そして累積的に関与しているのである。

もしもわたしたちが、それでもなお、ある人びとは構造的不正義に責任を負うべきだと言いたいのであれば、わたしたちに必要なのは、個人の行為とその直接的な加害との関係にのみ焦点を与える標準的な責任の構想とは異なる形で、責任を構想することである。

出典:アイリス・マリオン・ヤング『正義への責任』岡野八代・池田直子訳、岩波書店、岩波現代文庫、2022 年、pp. 169-172

問1 以上の文章に基づいた上で、「構造的不正義」と「標準的な責任」の関係を、「住宅価格の高騰」を具体例としながら、1000 字以内で説明せよ。

問2 あなたの専門分野において、構造的不正義であると考えられる事例を一つ挙げ、その不正義をもたらしている諸要因を、1500 字以内で説明せよ。

Discussion Exam (English)

著作権上の許諾が得られていないため非公開

Tompkins, J. E., & Guajardo (née Brown), A. M. (2024). Gatekeeping the Gatekeepers: An Exploratory Study of Transformative Games Fandom & TikTok Algorithms. *Games and Culture*, 0(0). <https://doi.org/10.1177/15554120241244416>

Questions:

- 1) What is gatekeeping, how is it defined in the text?
- 2) Why is gatekeeping relevant to digital games culture, according to the authors?
- 3) Why do some fans have a hostile reaction towards transformative fan creations of “Ghost”? Can you describe a similar situation from a different context?

問題冊子は回収します

2025 年度

先端総合学術研究科(一貫制博士課程)

一般入学試験問題(2025 年 2 月 2 日実施)

専門科目

入試方式	試験時間	解答方法
一般入学試験	9:40～11:10 (90 分)	問題を解答

(途中退室はできません)

【解答にあたっての注意】

1. 使用する言語のすべての解答用紙に受験番号・氏名を記入すること。
(使用しない言語の解答用紙には受験番号・氏名を記載する必要はない)
2. 試験中に気分が悪くなった場合は、静かに手を挙げて監督者に知らせること。

問1 以下の中から用語を3つ選択し、それぞれの意味する内容を 400 字以内で説明せよ。

Q1. Select three from the following terms and explain the meaning.

- | | |
|-----------------|---|
| • 障害者権利条約 | CRPD, Convention on the Rights of Persons with Disabilities |
| • 市民科学 | citizen science |
| • デジタルアーカイブ | digital archives |
| • 徳倫理 | virtue ethics |
| • ジェンダードイノベーション | gendered innovation |
| • 当事者宣言 | “tojisha” declaration |
| • 内婚と外婚 | exogamy and endogamy |
| • 観光のまなざし | tourist gaze |
| • 実践共同体 | community of practice |
| • 概念 | concept |
| • 複製技術 | reproduction technology |
| • 身体に関する哲学 | philosophy about the body |

問2 以下の設問から1つを選択し、1000 字以上 1500 字以内で論述せよ。

Q2. Select one from the following questions and answer it.

①社会的入院の問題について、脱施設化の流れを踏まえて論述せよ。

Discuss the issue of social hospitalization in the context of the deinstitutionalization movement.

②自律 (autonomy) と自己決定 (self-determination) の違いを説明し、それぞれが医療現場においてどのように適用されるか具体例を挙げ、批判的視点に立って論述せよ。

Explain the difference between autonomy and self-determination, give specific examples of how each is applied in healthcare settings, and discuss them from a critical perspective.

③都市化と文化変容の関係について、具体的な例を挙げながら論述せよ。

Discuss the relationship between urbanization and acculturation, providing specific examples to support your argument.

④肯定的な感情と否定的な感情の関係について、具体例を挙げながら、何らかの理論的観点を用いて論述せよ。

Discuss about the relationship between positive and negative feelings, providing specific examples.

問題冊子は回収します

2025 年度

先端総合学術研究科(一貫制博士課程)

一般入学試験問題(2025 年 2 月 2 日実施)

小論文

入試方式	試験時間	解答方法
一般入学試験	11:40～12:40 (60 分)	問題を解答

(途中退室はできません)

【解答にあたっての注意】

1. 使用する言語の解答用紙に受験番号・氏名を記入すること。
(使用しない言語の解答用紙には受験番号・氏名を記載する必要はない)
2. 試験中に気分が悪くなった場合は、静かに手を挙げて監督者に知らせること。

日本語の論述問題と英語の論述問題の <いずれか1つ> を選択し、文章を読んで設問に答えよ。

(日本語の問題を選んだ場合には、英語の問題には解答しないこと)。

Select either the Japanese or English examination, read the sentences and answer the questions. (If you choose the English examination, you don't need to answer the Japanese one.)

小論文(日本語)

以下の文章を読み、設問に答えよ。

以下の文章を読み、設問に答えよ。

著作権上の許諾が得られていないため非公開

ハンナ・アーレント『全体主義の起原 3——全体主義』大久保和郎・大島かおり訳、みすず書房、2017 年、346-348 頁

※ □ 内は出題者による補足

問 1 以上の文章に基づいた上で、「孤立 (isolation)」と「独りぼっちであること (loneliness)」の違いを説明し、両者がどのように関係しているのかを、1000 字以内で説明せよ。

問 2 あなたの専門分野において、アーレントのいう「全体主義的支配」と同じ構造を示す事態として考えられる事例を挙げ、その構造を説明した上で、そうした事態がもたらされた諸要因を 1500 字以内で説明せよ。

Discussion Exam (English)

The felt sense that we inhabit a convenience economy and culture is by now widespread. Nested in this understanding are ideas about ease and comfort, perpetually new technologies, and empowered consumers, on the one hand, and growing inequalities and frictions between the speed and exhaustion that convenience engenders, on the other. Popular critics of Big Tech such as Tim Wu name this the ‘tyranny of convenience’, where the adoption of modern conveniences like the washing machine or the smartphone has the ‘ability to make other options unthinkable’. Academic and journalistic assessments of the rise of platforms like Amazon, Netflix, and Uber, but also Meituan, Grab, Jio, LINE, WeChat, Gozem, and Flipkart, among many others, paint a similar portrait. Amazon’s conflation of speed with convenience, Sara Jones argues, ‘is destroying us’. She adds, ‘Someone has to pay for speed, and it will either be the customer or the worker. Amazon, like most companies, decided to shift the cost to workers’. Another study finds that convenience outstrips commodities themselves, noting that viewers subscribe to platforms like Netflix for the ‘convenience of on-demand streaming programming’ and not because of the rather narrow content offerings. Arjun Appadurai and Neta Alexander similarly note the ‘prominent promise of convenience, with its emphasis on immediacy and instant gratification’ at the heart of the appeal of both Silicon Valley and Wall Street. This provision of total convenience, comedian Ronny Chieng jokes in his Netflix special, is key to the lure and excess of the American dream and its global cognates: ‘How much more convenience can we get?’ Convenience is so pervasive that it has become the object of parody.

A striking aspect of such assessments is their focus on speed, the reduction of trouble or work, and ease of access or personal comfort. But they also suggest a surfeit of convenience. A willingness and meritocratic pretense to encourage or require some among us to do the heavy lifting in order to create time for privileged others. This includes gig economy services like: on-demand delivery, shopping, laundry, driving, and much else. This familiar division of labor and social relations is exacerbated by networked devices and organization, which are understood to disrupt prior inconveniences by making them smarter. Yet, while we agree that conveniences involve the social production of inequality, in what follows we argue that ease, time, and technologized efficiency are not sufficient to grasp and critique this shared sense of a divided world. Convenience instead resonates with Frederic Jameson’s account of postmodernism as the cultural logic of an epoch—a constellation of ‘aesthetics, knowledge, and political economy’. Paraphrasing Jameson, we might say: ‘if [convenience] is a historical phenomenon, then the attempt to conceptualize it in terms of moral or moralizing judgements must finally be identified as a category mistake’. Convenience is a condition we inhabit within contemporary capitalism, and must be submitted to rigorous analysis, historical and conceptual.

(Neves and Steinberg 2024, 11-12)

出典

Neves, Joshua, and Marc Steinberg. 2024. ‘In Convenience’. In *In/Convenience: Inhabiting the Logistical Surround*, edited by Joshua Neves and Marc Steinberg, 11–33. Theory on Demand 54. Amsterdam: Institute of Network Cultures.

Questions:

1. Explain what the authors mean by “convenience culture” and provide one or two specific examples. (Approx. 250 words)
2. How is convenience achieved, according to the authors? (Approx. 150 words)
3. Why should we analyze convenience rigorously rather than judging it morally according to the authors, and what is the difference between the two approaches in your opinion? (Approx. 200 words)